

# 苦情相談



国民生活センター 商品テスト部

## 最初の30分間は「強」で自動運転する電気カーペット

温度設定を「弱」にしても座れないほど熱くなるとの相談があった電気カーペットを調べたところ、設定温度にかかわらず最初の約30分間は「強」で自動運転し、40～42℃まで表面温度が高くなる仕様であった。表示からは分かりにくかった事例を紹介する。

### 相談内容

1畳用と2畳用の電気カーペットを購入し、初めて使用したところ、1畳用は座れないほど熱くなり、一番低い温度設定の「弱」にしても熱くて座れなかった。2畳用は温度センサーが付いているが、一番低い温度の「弱」に設定した場合でも、熱くなり過ぎて、すぐにスイッチが切れてしまう。店に伝えたところ、持ってきてくれれば交換すると言われた。しかし、交換した物でも同じことが再び起きるのなら危険なので交換ではなく返品したい。電気カーペットの表面温度を調べてほしい。

### 商品テストおよび調査

相談を受けた消費生活センター(以下、受付センター)は、国民生活センターに商品テストを依頼した。その結果、次のことが分かった。

#### (1) 苦情品の概要

苦情品は床に敷いて直接暖を取るための電気カーペットであった。

今回、相談者からは苦情品として1畳用と2畳用の電気カーペットのほか、それぞれに使用していた専用のラグも提供された。なお、苦情同

型品は在庫がなく入手することはできなかった。

1畳用、2畳用ともに、電気用品安全法に基づく基準を満たしていることを示すPSEマークがあった。

また、2枚とも取扱説明書に「最初の約30分間を『強』で自動運転する」との記載があった。なお、この自動運転を解除できる旨の表示はなかった(苦情品の主な仕様は表のとおり)。

#### (2) 苦情品の外観調査

2枚とも使用に伴う汚れや破損はなく、目立った異常はみられなかった。

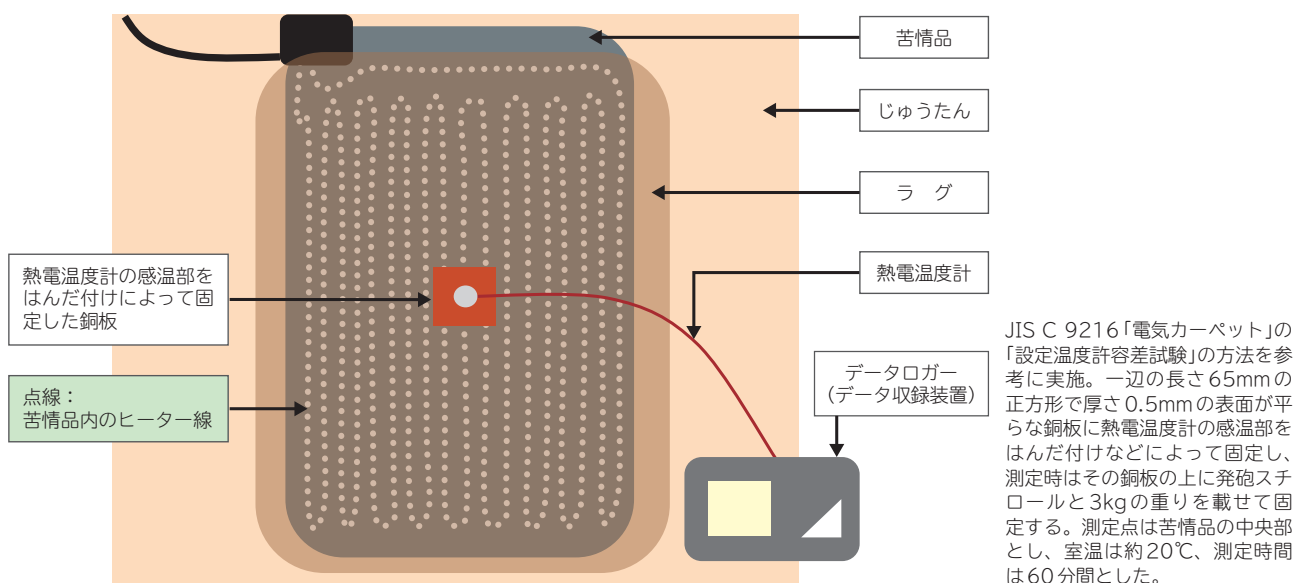
#### (3) 作動確認および表面温度測定

相談者の申し出どおりにじゅうたんの上に電気カーペットを敷き、その上に専用のラグを敷いて、使用状況を再現して、作動確認を行った。

表 苦情品の主な仕様

	1畳タイプ		2畳タイプ	
定格	AC100V 50/60Hz 200W		AC100V 50/60Hz 500W	
寸法	約176×88cm		約176×176cm	
温度調節目盛	弱～強		弱～強	
消費電力量	約110Wh (中)	約141Wh (強)	約220Wh (中)	約298Wh (強)
表面温度	約35℃	約45℃	約35℃	約45℃
その他	PSEマークあり			

図1 表面温度の測定方法(図はイメージ)



1畳用、2畳用のいずれも、コントローラーで「弱」「中」「強」の温度設定ができる。そこで、それぞれ「弱」「中」「強」に設定した状態で表面温度を測定した(図1)。

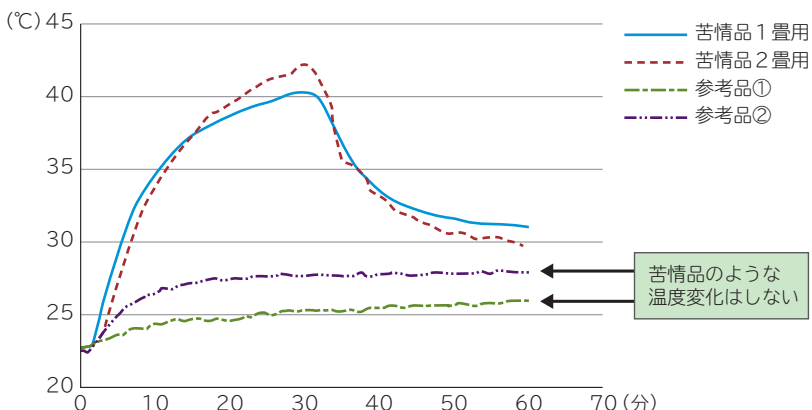
2枚とも温度設定とは無関係に、最初の約30分間は表面温度が40～42℃まで上昇し、約30分を過ぎると、「弱」「中」「強」それぞれの設定した温度域になった。

次に比較のため参考品として他社製造の1畳用電気カーペットを2銘柄購入し、同様の条件で作動させた。苦情品のように、最初の30分間に表面温度が40～42℃まで上昇することはなく、設定した「弱」「中」「強」それぞれの温度で作動するようすが確認できた(図2)。

さらに電気カーペットの上に敷くラグが異なると、表面温度に違いがあるかどうかを確認するために、別途ラグを購入して調査した。室温約20℃で1時間作動させたときの表面温度分布は、相談者のラグと大きな差はみられなかった。

これらの結果から、苦情品を「弱」にしても熱いと感じた原因は、「弱」「中」「強」のいずれに設

図2 作動時の表面温度変化(温度調節「弱」の例)



定した場合でも、最初の約30分間は表面温度が40～42℃まで上昇するためと考えられた。

## 結果概要

受付センターは、商品テスト結果を販売会社に伝えた。

販売会社からは、当該商品は最初の約30分間を「強」で自動運転する機能が付いたものであったが、既に製造を終了している。今後、同様の機能が付いた電気カーペットを販売する際は、分かりやすい表示に努めたいとの回答があり、相談者には返金された。